

June 13, 2019

【前日の為替概況】ユーロドル、反落 トランプ米大統領が独露エネルギー計画阻止の制裁検討

12日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは反落。終値は1.1287ドルと前営業日NY終値(1.1326ドル)と比べて0.0039ドル程度のユーロ安水準だった。5月米消費者物価指数(CPI)が予想を下回ると、米長期金利の低下とともにユーロ買い・ドル売りが先行。21時30分過ぎに一時1.1341ドル付近まで値を上げた。ただ、夕刻に付けた日通し高値1.1343ドルの上抜けに失敗すると失速した。2.1066%前後まで低下した米10年債利回りが2.1413%前後まで低下幅を縮めたこともユーロ売り・ドル買いを誘った。

トランプ米大統領が「(ロシアからバルト海経由で天然ガスを直接ドイツに送るパイプライン)ノルド・ストリーム2計画阻止のための制裁を検討している」と述べ、ドイツに対しエネルギーでロシアに依存しないよう警告すると、米独関係悪化への警戒感からユーロ売り・ドル買いが強まった。前日の安値1.1302ドルを下抜けて一時1.1283ドルまで下げ足を速めた。

なお、同パイプラインを巡っては米国の他東欧や北欧、バルト海諸国から、欧州連合(EU)のロシア産ガスに対する依存が高まると懸念する声が出ている。一方で、ドイツは同計画を推進する強い立場を一貫して維持している。

ドル円はほぼ横ばい。終値は108.50円と前営業日NY終値(108.52円)と比べて2銭程度のドル安水準だった。日本時間夕刻に一時108.22円と日通し安値を付けたあとはじりじりと下値を切り上げる展開。予想を下回る米CPIを受けて円買い・ドル売りが入る場面もあったが、米金利低下が一時的だったことからドル円の下値は堅かった。米長期金利が低下幅を縮めたことに伴って一時108.55円付近まで値を戻している。もっとも、アジア時間に付けた日通し高値108.57円は上抜くことはできなかった。

NY中盤以降はユーロやポンド絡みの取引が中心となったため、ドル円自体は方向感が出なかった。

ユーロ円は5営業日ぶりに反落。終値は122.48円と前営業日NY終値(122.91円)と比べて43銭程度のユーロ安水準。トランプ米大統領の「ノルド・ストリーム2計画を巡る制裁措置を検討」との発言をきっかけに、米独関係の悪化が懸念されると円買い・ユーロ売りが優勢に。3時30分過ぎに一時122.42円と日通し安値を付けた。

ポンドドルは一転下落した。英与党・保守党の次期党首の有力候補と目されるボリス・ジョンソン前外相が英国のEU離脱問題を巡り「合意なき離脱を目指していない」と述べたことを受けて、全般ポンド買いが先行。21時30分過ぎに一時1.2759ドルと日通し高値を付けた。

ただ、英議会下院はこの日、EUからの「合意なき離脱」の阻止に向けて議会で審議時間を確保するための動議を反対多数で否決。無秩序離脱の阻止に向けた議会手続きの最初の段階でつまづいたことから、ポンドを売る動きが広がった。1時30分過ぎに一時1.2682ドルと日通し安値を付けた。

【本日の東京為替見通し】ドル円は狭いレンジで蚊帳の外、豪雇用統計・英保守党党首選に注目

本日の東京市場のドル円は、引き続き方向感がなく108円台でのレンジ取引か。今週に入りドル円は、昨日の安値108.22円から11日の高値108.80円の狭いレンジでの取引が続いている。本邦勢以外はドル円に対しての興味を失い、当面のドル円相場は蚊帳の外となりそうだ。

しかし、トランプ米大統領の発言やツイッターには警戒をしなくてはならない。昨日もドイツに対しての内政干渉とも捉えかねないことに突如言及したこともあり、どのような発言が出てくるのかは未知数だ。日米通商問題に関しては、米大統領の盟友でもある安倍首相が参議院選を有利に運べるように、当面は通商問題を表面化させることはないだろう。しかし、米中貿易戦争についての発言が出てくる可能性もあることで、米大統領の言動には注意が必要だ。

また香港のデモが拡大していることで、香港や中国の株式市場の動きにも目を配りたい。

ドル円以外の通貨では、豪ドルとポンドに注目したい。東京時間の10時半に豪州の5月雇用統計が発表される予定になっている。前回の豪準備銀行(RBA)理事会の声明文で「雇用の成長を支援し、インフレが中期目標と一致するという確信を高めるために利下げを決定した」とされたように、雇用統計はRBAの判断を大きく左右するため注目度が高い。5月の市場予想は、失業率が5.1%、新規雇用者数が+1.75万人となっている。

欧州時間に入ると英・保守党の第1回党首選選挙が行われることで、ポンドの動きに警戒したい。現時点では10人の議員が立候補しているが、第1回目は保守党議員の5%にあたる17票に届かなかった候補

者は落選し、もし全員が17票に達した場合は、最下位の候補者が落選する仕組みになっている。最終的に20日までに2人に絞込み、党首選は7月22日まで続く。昨日もジョンソン前外相の発言などでポンドは大きく動いたこともあり、当面は保守党党首選の動向次第で欧州時間のポンドは動きそうだ。なお、投票結果は日本時間21時頃になるとされている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◇ 4-6月期法人企業景気予測調査
- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）
- 13:30 ◇ 4月第三次産業活動指数（予想：前月比0.4%）

<海外>

- 10:30 ◎ 5月豪雇用統計（予想：失業率5.1%／新規雇用者数1.75万人）
- 15:00 ◎ 5月独消費者物価指数（CPI）改定値（予想：前月比0.2%／前年比1.4%）
- 15:30 ◇ 5月スイス生産者輸入価格（予想：前月比0.1%）
- 16:30 ☆ スイス国立銀行（中央銀行）、政策金利発表（予想：▲0.75%で据え置き）
- 18:00 ◎ 4月ユーロ圏鉱工業生産（予想：前月比▲0.5%／前年比▲0.5%）
- 19:00 ◇ 4-6月期南アフリカ経済研究所（BER）企業信頼感指数（予想：28）
- 21:30 ◇ 4月カナダ新築住宅価格指数（予想：前月比横ばい）
- 21:30 ◇ 5月米輸入物価指数（予想：前月比▲0.2%）
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：21.6万件／168.0万人）
- 14日 02:00 ◎ 米財務省、30年債入札
- 英保守党党首選、第1回投票
- ユーロ圏財務相会合（ルクセンブルク）
- 日米閣僚級貿易協議（ワシントン、15日まで）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

12日 08:27 エブラルド・メキシコ外相

「移民対策が失敗すれば、米側は“安全な第三国指定”の議論を望んでいる」

「“安全な第三国指定”の不必要を証明するために45日ある」

「米・メキシコ間で秘密協定はない」

12日 22:23

「新移民政策について、グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドルと共同作業部会を設置」

「移民政策について14日(金)に米国と協議」

12日 15:29 サルビーニ副首相

「イタリア政府は、銀行の貸金庫に保管されている現金などに課税する可能性」(イタリア紙報道)

12日 15:40 ビルロワドガロー仏中銀総裁

「ECBは、インフレ目標を達成していない状況では、緩和政策を継続する」

「ECBは、現状の景気低迷がさらに悪化した場合、追加緩和策を打ち出すことが可能」

12日 17:51 ミュラー・エストニア中銀総裁

「ECBのインフレ目標までには、まだ距離がある」

「ユーロ加盟国にデフレリスクは見当たらない」

12日 19:21 ジョンソン前英外相

「合意なしのブレグジット(英国の欧州連合からの離脱)を目指していない」

「英国は10月31日に欧州連合から離脱すべき」

12日 20:29 ロス米商務長官

「トランプ米大統領と習中国国家主席は、通商協議の再開を決断するだろう」

「トランプ米大統領は、中国の構造改革を望んでいる」

「大阪サミットでの米中首脳会談では、最終合意が予定されているわけではない」

12日 23:49 コンテ伊首相

「19年財政目標は達成、もしくは更に改善されているだろう」

「今年度の税収入は予想よりも増加、政府は負債を減らす努力をしている」

「EU安定協定は尊重しているが、規律内容への批判も受け入れるべき」

13日 01:29 トランプ米大統領

「中国と合意できると期待」

「合意なければ3250億ドル相当の中国製品に追加関税を課す」

「(ロシアからバルト海経由で天然ガスを直接ドイツに送るパイプライン)ノルド・ストリーム2阻止のための制裁を検討」

「米国と北朝鮮は良好な関係」

「北朝鮮に対して強く圧力をかけるつもりはない」

13日 01:32 ロウハニ・イラン大統領

「安倍首相との会談はとても有意義なものだった」

「日本はイラン産原油の購入継続に興味をもっている」

「イランは戦争を始めるつもりはないが、攻撃されれば反撃する」

13日 01:45 安倍晋三首相

「(中東情勢について)武力衝突は避ける必要」

「イランが引き続き核合意を順守することを期待」

「緊張緩和に向け日本としてできる限りの役割を果たしたい」

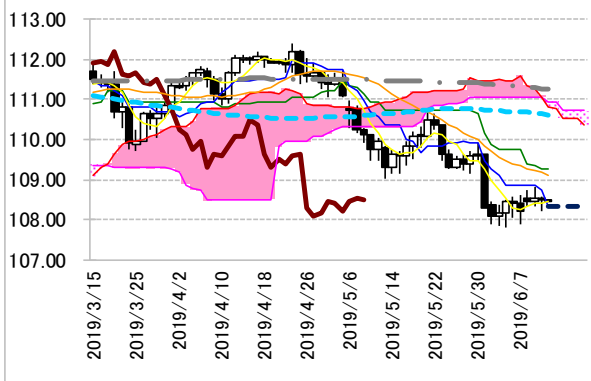
13日 03:43 エルドアン・トルコ大統領

「すでにロシア製S400地对空ミサイルは購入しており、来月には配備される」

「米国とのF35戦闘機の問題については、6月下旬の首脳会談前に電話会談で解決したい」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

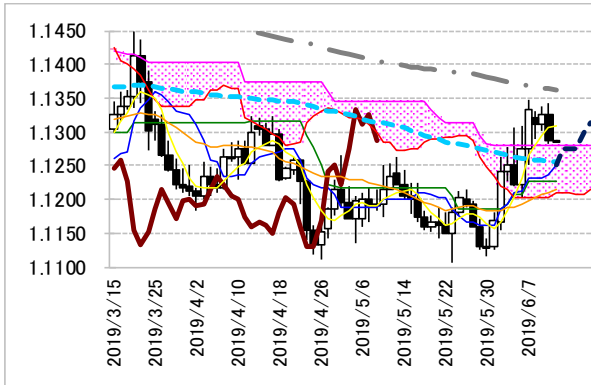


<ドル円＝低下した転換線を上回る推移に>

下影極小陰線引け。低下中の一目均衡表・転換線が引き続き重しとなった。しかし、目先のすう勢を示す短期・5日移動平均線を下回る水準で底堅さを示し、レンジを大きく切り下げなかった。

転換線は、本日 108.31 円へさらに低下。だが、現状からすれば、この水準で底打ちする見込み。NY 引けの水準を維持すれば、日柄経過を味方に転換線を上回ることになる。目先の抵抗をこなし、戻りを試す展開が期待できる。

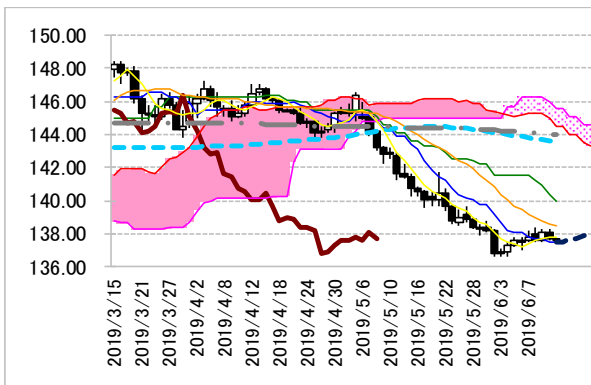
レジスタンス 1	109.02(5/13 安値)
前日終値	108.50
サポート 1	108.08(ピボット・サポート 2)
サポート 2	107.77(1/10 安値)



<ユーロドル＝雲付近を維持し、転換線の上昇を待つ状態>

上影陰線引け。上昇が先行し、一時 1.1343 ドルまで上昇した。しかし、先週末 7 日同様に 1.1340 ドル台で失速。上値に低下中の 200 日移動平均線という抵抗が控えるなかで伸び悩んだ。一目均衡表・雲の上限 1.1280 ドルを割り込むことなく NY を引けた。雲付近の底堅さを引き続き維持しよう。雲の中で上昇中の一目均衡表・転換線が、やがて相場を押し上げることになるか注視する局面にある。

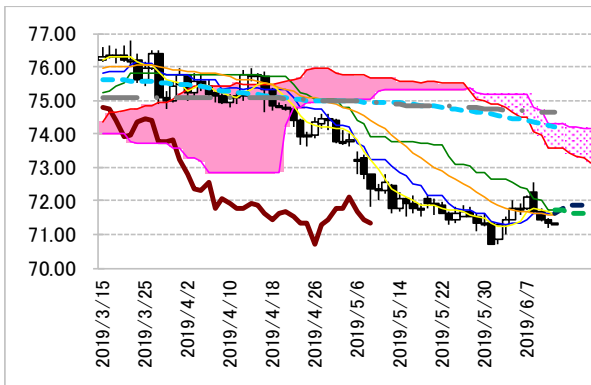
レジスタンス 1	1.1362(200 日移動平均線)
前日終値	1.1287
サポート 1	1.1252(日足一目均衡表・転換線)



<ポンド円＝転換線が底打ち、底堅さ強め 21 日線を試す展開>

陰線引け。一目均衡表・転換線付近で方向感をはっきりしない状態が続いていた。しかし、転換線は昨日 137.46 円へ低下したところで低下の流れを休止した可能性が高い。同線を割り込まず NY を引けており、サポートとしての働きを明確にしつつある。相場が底堅さを強め、目先の抵抗である 21 日移動平均線の上抜けを試すと p みる。

レジスタンス 1	138.44(21 日移動平均線)
前日終値	137.68
サポート 1	137.00(6/6 安値)



<NZドル円＝基準線の底打ち後、転換線の上昇を追うか>

下影小陰線引け。下支えが期待された一目均衡表・転換線を下回って推移している。だが、71.61 円で横ばいだった転換線は、本日から緩やかながら水準を切り上げ始めた。低下中の一目・基準線も週明けには横ばいへ転じる見込み。抵抗の軽減を背景に、転換線の上昇を追う、じり高の展開を予想する。

レジスタンス 1	71.73(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	71.32
サポート 1	71.00(6/4 安値)

